

令和5年度 環境経営レポート

 **笠原工業 株式会社**



対象期間 令和5年 1月1日 ～ 12月31日

発行日 令和6年 2月28日



 **笠原工業 株式会社**

目 次

1. 組織の概要	2ページ
2. 対象範囲	4ページ
3. 環境経営方針	5ページ
4. SDGs 達成に向けた取り組み	6ページ
5. 環境経営目標	7ページ
6. 環境経営活動計画	8ページ
7. 環境経営活動計画の取組結果とその評価	
並びに次年度への取り組み内容	11ページ
* マテリアルバランス	14ページ
* 各部の環境経営目標の実績	15ページ
8. 環境法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	
並びに違反、訴訟等の有無	20ページ
9. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	22ページ

1. 組織の概要

1-1. 事業所名・代表者名及び所在地、事業の概要

- ・ **笠原工業株式会社** 長野県上田市常田1丁目10番3号
創業 明治33年 設立 平成19年1月 資本金 5000万円
代表取締役社長 笠原 章嗣

URL: www.kasahara.co.jp/kasahara/

【管理部門】 常務取締役 小出
総務課長 近藤

【合成部】 合成部長代理 後藤
* 発泡スチロール製造販売 5.3億円（令和5年度）

【精密加工部】 精密加工部長 小林
* ガラス素材切断・研磨 1.9億円（令和5年度）

【AB部】 AB部長 両角
* 農業関連資材販売 1.6億円（令和5年度）
注）住所未記入の部署は本社内です。

- ・ **笠原工業株式会社 御牧事業所** 長野県東御市羽毛山519-33
【電子部】 電子部長 宮下
* 電子部品組立 18.7億円（令和5年度）

電子部 甲府営業所
担当 小林
山梨県南アルプス市在家塚1288-2

- ・ **笠原工業株式会社 再生可能エネルギー利用施設**
 - * 八重原発電所（太陽光）
長野県東御市八重原字泥ヶ沢1742-1 規模：408kw/h
 - * 常田発電所（太陽光）
長野県上田市常田1丁目10番3号 規模：47kw/h

1-2. 事業規模

受注額 : 28.2億円 (令和5年度)
従業員 : 認証対象 99名
延床面積 : 本社 12,548 m²
御牧事業所 4,338 m²
甲府営業所 614 m²

1-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

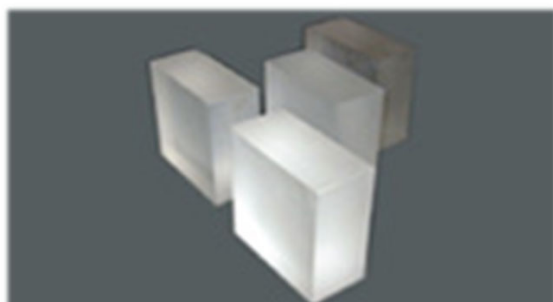
環境管理責任者 : 精密加工部部長 小林
担当者 : ea21事務局 瀧澤

連絡先

TEL : 0268-22-1230

FAX : 0268-25-1594

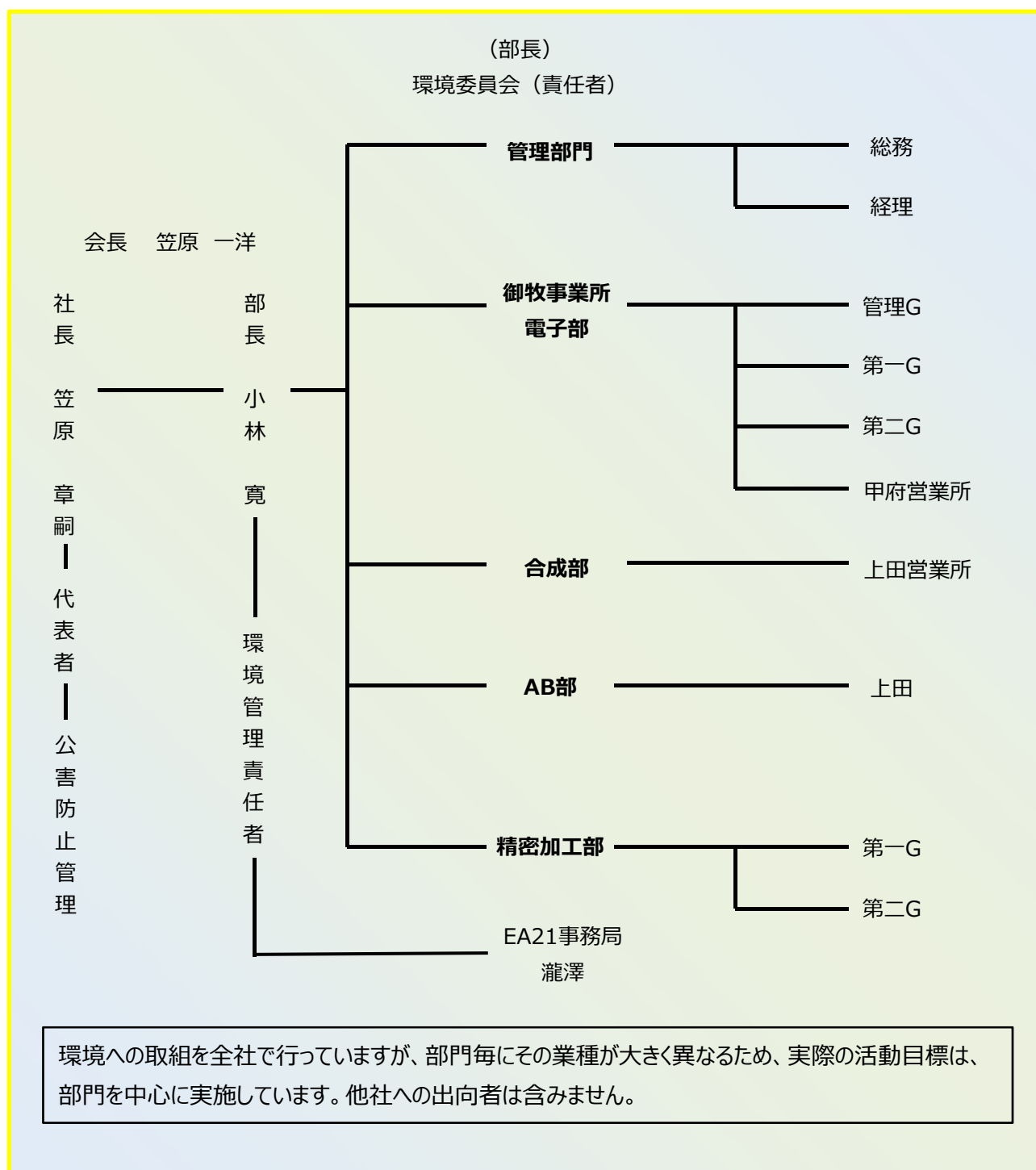
E-mail : kasahara-green@kasahara.co.jp



2. 対象範囲

2-1. 認証・登録範囲

笠原工業株式会社 環境経営活動組織 2024年度



2-2. レポートの対象期間及び発効日

対象期間 令和5年 1月1日 ~ 12月31日
発行日 令和6年 2月28日

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

【基本理念】

「地域社会と自然環境の保護」

笠原工業株式会社は、自然環境に恵まれた信州上田の地に百十余年にわたり、企業活動を続けてまいりました。

文化庁より重要文化財として当社の「旧常田館製糸場施設7棟」が指定されており、文化財の保存・活用を図り、次世代に継承します。

また、長野県SDGs推進企業として、持続可能な社会づくりのため、意欲的に取り組みます。

引き続きこれからも、地域の皆様を初め、大勢の皆様に愛されるよう積極的な環境活動を行って参りたいと思います。

【環境経営方針】

1. 当社の経営活動により生じる環境への課題をしっかりと把握し、SDGsで定めた目標と連携して継続的改善及び環境汚染防止に挑戦します。
2. 当社は環境に関する法律及び条例や協定、当社が合意した事項を遵守します。その他環境に関する要請に対応します。
3. 当社の事業活動により生じる環境負荷を低減するよう、部署毎に事業内容に合った環境負荷の低減目標を設定し実行します。
4. 当社は生物多様性損失などの深刻な課題に対応するため、環境保全活動に取り組みます。
5. 当社の環境経営方針は、全社員に周知徹底し社外へ公開します。

制定日 2005年 08月20日

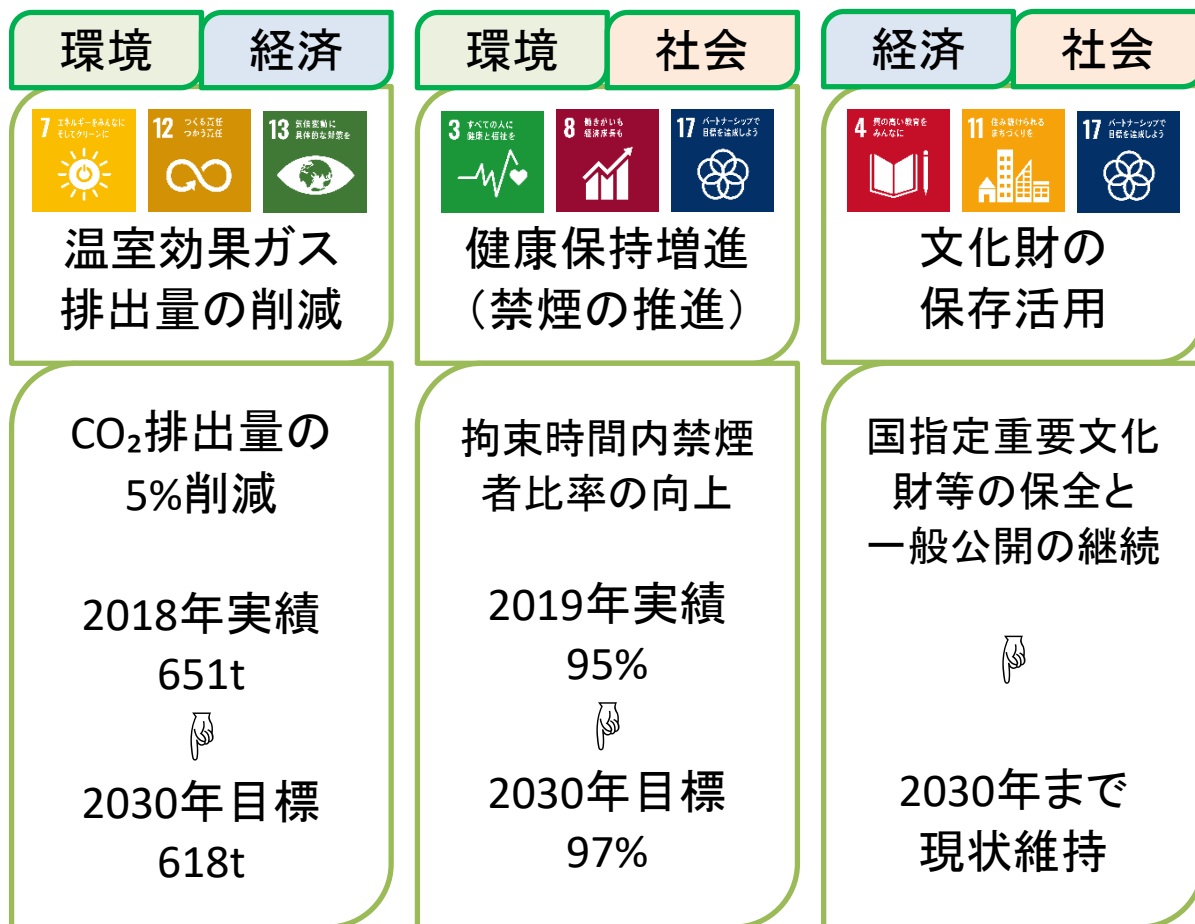
改定日 2024年 01月04日

笠原工業株式会社 代表取締役社長 笠原 章嗣

4. SDGs 達成に向けた取り組み

笠原工業株式会社は、社是『常に信用を重んじ、顧客に満足される製品の供給に総力を結集し、社業の進展と社会の繁栄に寄与する』に基づき、組織体制を整備し、安全性や品質の維持向上に努め、人や環境に配慮し、地域社会へ貢献することで使命を果たしていきます。

これらは SDGs の目的にも適うものであり、SDGs の目標を達成することにより、持続可能な社会の実現に寄与します。



☆ 2020年 1月より長野県SDGs推進企業登録制度に登録を宣言致しました。



5. 環境経営目標 及び 6. 活動計画

2024年度は新たな中期環境経営目標の1年目の年となります。

各部門の業務を通しての活動計画を定め、全員参加で活動に取り組み行っております。



* 全社（本社+御牧事業所+甲府営業所） * （2019年 中部電力二酸化炭素調整後排出係数0.426kg-CO₂/kWhを使用）

パフォーマンス評価項目の例				基準年 (2019年)	目標		
環境負荷削減					2024年	2025年	2026年
CO2 削減	二酸化炭素 排出量		kg-CO2	592,815	486,024	495,108	485,829
	対販売CO2指標		kg-CO2/販売量 (万円)	2.4	1.61	1.54	1.42
省エネ	内訳	電気量	kg-CO2	444,092	371,050	378,471	370,902
			kwh	982,504	871,010	888,430	870,662
		灯油	kg-CO2	13,367	13,089	13,351	13,084
			ℓ	5,364	5,257	5,362	5,255
		ガソリン	kg-CO2	37,182	21,836	22,273	21,828
			ℓ	16,015	9,412	9,600	9,408
		軽油	kg-CO2	98,174	80,048	81,649	80,016
			ℓ	37,409	31,026	31,647	31,014
省資源	廃棄物	一般廃棄物 削減	kg	8,538	6,420	6,522	6,417
		産業廃棄物 削減	kg	37,710	36,076	36,797	36,061
	使用水量	水道水 使用量削減	m³	9,396	7,959	8,115	7,955
生物 多様化	化学物質 (精密加工 部のみ使用)	イソプロピル アルコール	kg	4,960	3,520	3,520	3,520
		酸化 アルミニウム	kg	6,240	3,220	3,220	3,220
		水酸化 ナトリウム	kg	0	770	770	770
		エポキシ 樹脂系	kg	12	10	10	10

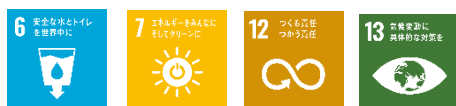
部門		2024年度目標	2024年度活動実施計画
共通 (全社)	  	・電気使用量 ・灯油 ・ガソリン（社有車） ・軽油（社有車） ・廃棄物 ・上水使用料	☆省エネ、省資源活動継続する。 ・原単位（CO2排出量/売上高）を目標設定する。 ・各化石燃料は監視項目とし、大幅増減の項目は原因追求し、対策をとる。
	管理部門 (本社)    	1.事務消耗品の節約 グリーン購入 2.社有車燃費維持向上 18.7km/l 3.太陽光発電管理 4.環境美化 5.健康管理 再検査率 100%	☆事務用品のグリーン購入 ☆燃費向上を意識した社有車の運転 ☆本社別館の太陽光発電（自家消費）の維持及び管理 ☆年2回の清掃活動継続（5月・10月） ・全員参加の工場敷地内外、近隣の清掃活動の実施 ☆健康診断でC判定（要再検）以上の社員の再検査率の向上 ・社内報による、健康に関する情報の発信及び禁煙の啓蒙
	合成部 (本社)  	1.年間を通じての在庫管理 3,000万以内/年間 2.クレーム件数の低減	☆年間を通じ在庫管理を行う。 ☆客先によるクレーム件数の把握（目標：20件/年間） ☆クレームに関わる仕損金額（目標：15,000円以内） ☆仕入仕損件数（5件以内/年間）
本 社	AB部 (本社)  	1.本年度生産資材の売上内で環境対応型資材率の実績を7.0%にする。 2.エコ資材販売 前年度実績+2% 3.在庫不足による機会損失を防ぐ為の在庫管理 四半期毎の目標在庫	☆取扱環境対応型資材を常時20点とし活動を行う。 ☆展示会等を通じ、有効な環境対応型資材を見つけ出す。 ☆環境対応型資材の提案をJAや生産者へ行う。 ☆四半期毎にプラグポット在庫を確認し機会損失を防ぐ。 144号：3,400 220号：2,900 299号：1,000 220SF号：1,000 128SF号：2,100 72S号：1,000

部門		2024年度目標	2024年度活動実施計画
本 社	精密加工部 (本社)      	1.ワイヤーソー断線率の低減 1.0%以下 2.再研磨率低減 10.0%以下 3.再洗浄率低減 10.0%以下 4.仕損金の把握 5.在庫について 6.電気使用量（金額） 7.水道メーター	☆運転前作業の確認の徹底 ☆加工中の機械動作状況確認 ☆キズ発生検証・項目毎の対策 （研磨材・機械・加工条件・人） ☆機械 人 方法の改善 ☆客先不良及び工程内不良の仕損金把握 （目標：客先 8万円以下/工程 30万円以下） ☆材料費（材料+補材）の在庫金額が売上の45%以下 ☆生産金額の8.5%以下 ☆毎日使用量確認。異常時の原因究明及び対策
	電子部 (御牧・甲府営業所)       	1.継続監視データ管理 2.不良品・仕損品の減少 （不良品・仕損率） * 顧客出荷品質 ケーブル関係 御牧事業所 100ppm 甲府営業所 100ppm 組立関係 御牧事業所 15件以下 甲府営業所 5件以下 3.仕損金額の減少 4.在庫圧縮管理 製品・・・生産高の40% 材料・・・生産高の100% （材料比率は製品の50%） 5.変更管理の対応 6.環境教育 7.環境美化	☆電力・水道・廃棄物・社用車燃費 ☆定期パトロール及び教育による技能の向上 ・障害品の原因分析強化と全ての加工先への周知徹底 ・合同品質会議及び部内品質会議の開催 ・検査員の多能工化及び検査治具改善による出荷品質の向上 ・設計ミスによる廃棄部材の低減 ☆集計及び監視 ☆月の生産高に対する適正在庫及び当月と翌月の受注に対する適正在庫管理 ・毎月1回の変更管理会議 ・新規採用社員や協力会社への環境教育 ・避難訓練・・・9月 防災の日 ・工場内外の一斉清掃と除草（年2回）

(2024年度 年間計画)

	実施日	実施項目	担当・出席者
1 月 度	1月24日 1月26日	・環境への負荷の自己チェック 2023年度まとめ ・更新審査申込書提出 ・第1回環境会議開催	事務局 事務局 各部門長・環境責任者
2 月 度	2月下旬	・環境レポート作成 中央事務局への送付 ホームページ開示	事務局
3 月 度			
4 月 度	4月上旬 4月上旬	・環境活動計画1/4期まとめ ・更新審査（本社 御牧 甲府） ・更新審査（本社 まとめ）	各部門 各部門長・環境責任者 事務局
5 月 度	5月上旬 5月下旬	・第2回環境会議開催 （1/4期進捗 中間審査報告） ・環境美化活動の実施	各部門長・環境責任者 事務局 管理部 各部門
6 月 度	6月上旬	・グリーンカーテンの実施	事務局
7 月 度	7月上旬 7月中旬	・環境活動計画2/4期まとめ ・第3回環境会議開催（2/4期について）	各部門 各部門長・環境責任者 事務局
8 月 度			
9 月 度	9月上旬	・環境教育（緊急事態訓練 火災）	各部門
10 月 度	10月上旬 10月中旬 10月下旬	・環境活動計画3/4期まとめ ・第4回環境会議開催 （内部監査について・3/4期について） ・環境美化活動の実施	各部門 各部門長・環境責任者 事務局 各部門
11 月 度	11月上旬 11月中旬 11月下旬	・環境教育（本社 御牧 甲府） ・内部監査の実施 ・マネジメントレビュー会議開催	内部監査委員 環境責任者・事務局 経営者・各部門長 環境責任者・事務局

7. 環境経営活動計画の取り組み結果とその評価並びに次年度への取り組み内容



7-1. 環境への負荷の状況（取りまとめ表）

* 全社（本社+御牧事業所+甲府営業所） *（2019年 中部電力二酸化炭素調整後排出係数0.426kg-CO₂/kWhを使用）

パフォーマンス評価項目の例 環境負荷削減			基準年 (2019年)	前年目標 (2023年)	前年実績 (2023年)	評価	当年目標 (2024年)	
CO2 削減	二酸化炭素排出量		kg-CO2	592,815	557,415	502,151	○	486,024
	対販売CO2指標		kg-CO2/販売量 (万円)	2.4	2.55	1.82	○	1.61
省エネ	内訳	電気量	kg-CO2	444,092	423,015	379,549	○	371,050
			kwh	982,504	992,993	888,786	○	871,010
		灯油	kg-CO2	13,367	19,092	18,639	○	13,089
			ℓ	5,364	7,662	7,486	○	5,257
		ガソリン	kg-CO2	37,182	25,605	22,282	○	21,836
			ℓ	16,015	11,028	9,604	○	9,412
		軽油	kg-CO2	98,174	89,703	81,681	○	80,048
			ℓ	37,409	34,181	31,659	○	31,026
省資源	廃棄物	一般廃棄物 削減	kg	8,538	8,668	6,551	○	6,420
		産業廃棄物 削減	kg	37,710	41,914	33,952	○	36,076
	使用水量	水道水 使用量削減	m³	9,396	9,050	7,011	○	7,959
生物 多様化	化学物質 (精密加工部のみ 使用)	イソプロピル アルコール	kg	4,960	4,733	3,200	○	3,520
		酸化 アルミニウム	kg	6,240	3,733	4,510	×	3,220
		水酸化 ナトリウム	kg	0	0	0	○	770
		エポキシ 樹脂系	kg	12	8	0	○	10

* 本社（精密加工部+管理部+合成部+AB部）

パフォーマンス評価項目の例 環境負荷削減				基準年 (2019年)	前年目標 (2023年)	前年実績 (2023年)	評価	当年目標 (2024年)
CO2 削減	二酸化炭素排出量		kg-CO2	474,184	435,345	379,042	○	366,284
	対販売CO2指標		kg-co2/販売量 (万円)	3.91	4.43	4.27	○	3.54
省エネ	内訳	電気量	kg-CO2	362,305	332,148	284,891	○	279,194
			kwh	801,560	779,689	668,759	○	655,384
		灯油	kg-CO2	13,367	19,092	18,639	○	13,089
			ℓ	5,364	7,662	7,486	○	5,257
		ガソリン	kg-CO2	21,890	15,767	13,981	○	13,701
			ℓ	9,429	6,791	6,026	○	5,906
		軽油	kg-CO2	76,621	68,641	61,531	○	60,300
			ℓ	29,196	26,156	23,849	○	23,372
省資源	廃棄物	一般廃棄物 削減	kg	3,660	5,604	3,220	○	3,156
		産業廃棄物 削減	kg	33,110	39,800	30,271	○	33,484
	使用水量	水道水 使用量削減	ℓ	8,835	8,567	6,475	○	7,421

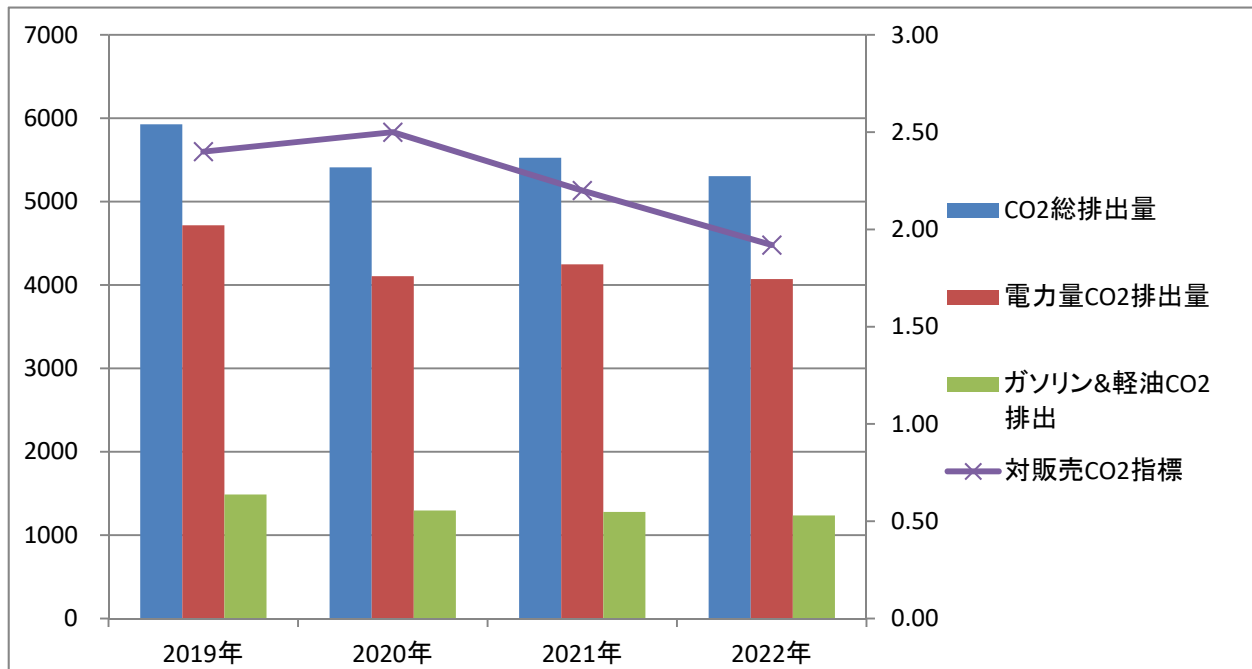
* 御牧事業所

パフォーマンス評価項目の例 環境負荷削減			基準年 (2019年)	前年目標 (2023年)	前年実績 (2023年)	評価	当年目標 (2024年)	
CO2 削減	二酸化炭素排出量		kg-CO2	95,404	89,187	90,353	×	88,547
	対販売CO2指標		kg-co2/販売量 (万円)	0.78	0.65	0.61	○	0.56
省エネ	内訳	電気量	kg-CO2	66,541	65,588	67,407	×	66,059
			kwh	147,214	153,964	158,233	×	155,068
		ガソリン	kg-CO2	10,094	5,176	4,857	○	4,760
			ℓ	4,348	2,229	2,094	○	2,052
		軽油	kg-CO2	18,770	17,876	18,089	×	17,727
			ℓ	7,152	6,811	7,011	×	6,871
省資源	廃棄物	一般廃棄物 削減	kg	4,577	2,442	2,005	○	1,965
		産業廃棄物 削減	kg	4,550	2,049	3,591	×	2,504
	使用水量	水道水 使用量削減	ℓ	501	352	377	×	382

* 甲府営業所

パフォーマンス評価項目の例 環境負荷削減			基準年 (2019年)	前年目標 (2023年)	前年実績 (2023年)	評価	当年目標 (2024年)
CO2 削減	二酸化炭素排出量	kg-CO2	23,225	32,887	32,756	○	31,193
	対販売CO2指標	kg-CO2/販売量 (万円)	0.94	0.78	0.83	×	0.77
省エネ	内訳	電気量	kg-CO2	15,246	25,279	×	25,798
			kwh	33,730	59,340	×	60,558
		ガソリン	kg-CO2	5,196	4,662	○	3,375
			ℓ	2,238	2,008	○	1,455
		軽油	kg-CO2	2,783	3,186	○	2,020
			ℓ	1,061	1,214	○	783
省資源	廃棄物	一般廃棄物 削減	kg	301	622	×	1299
		産業廃棄物 削減	kg	50.0	65.0	×	88.0
	使用水量	水道水 使用量削減	ℓ	152.0	131.0	×	156.0

7-2. 主な負荷項目毎の年度別変化



*排出量は1/100の数字になっております。

笠原工業(株)2022年度マテリアルバランス



7-3. 各部の環境経営目標の実績

部 門		実 施 項 目	目 標 (2023年)	実 績 (2023年)
本 社	管理部門 (本社)	1.事務用品グリーン購入	・目標値指定無し	・目標値指定無し
		2.社有車のエコドライブ	・燃費目標：18.5km/ℓ	・実績：19.5km/ℓ 達成
		3.環境美化	・年2回の近隣清掃実施	・年2回（5・10月）の実施 花いっぱい運動の継続
		4.健康管理	・再検査率 100%	・再検査率:100% 達成
	合成部 (本社)	1.効率のよい販売 活動の推進	・年間を通じて在庫管理を行う 目標金額：2,600万/1ヶ月平均	・通期結果：4,069万円 未達
		2.クレーム件数と 仕損金額の把握	・客先クレーム件数 目標：7件以内/年間 ・クレーム仕損金額 15,000円以内/年間 ・仕入仕損件数 5件以内/年間	・クレーム件数：27件 未達 ・仕損金：18,303円 未達 ・仕損件数：7件 達成
		1.本年度売上総額の 環境対応型資材向上	・売上金額比：7.2%以上	・売上金額比：6.56% 未達
	AB部 (本社)	2.エコ資材の提案・販促	・提案目標件数：70	・提案件数：70件 達成
		2.プラグボットの在庫 確認。±25%の範囲 での在庫確保	・144号 3,400（基準内：上4,250～下2,550） ・220号 2,900（基準内：上3,625～下2,175） ・299号 1,000（基準内：上1,250～下750） ・220SF号 1,000（基準内：上1,250～下750） ・128SF号 2,100（基準内：上2,625～下1,575） ・72S号 1,000（基準内：上1,250～下750）	・144号：基準内 ・220号：不足 ・299号：基準内 ・220SF号：過剰 ・128SF号：過剰 ・72S号：過剰
		1.ワイヤソー断線率低減	・断線率:1.0%以下	・断線率:0.1% 達成
	精密 加工部 (本社)	2.再研磨率の低減	・再研磨率:10%以下	・再研磨率:4.5% 達成
		3.再洗浄率の低減	・再洗浄率:10%以下	・再洗浄率:4.8% 達成
		4.仕損金の把握	・客先不良及び工程内 目標客先：8万円以下 目標工程：30万円以下	・5,940円 達成 ・95,800円 達成
		5.在庫について	・部材売上45%以下	・76.5% 未達
		6.電気使用量	・生産金額8.5%以下	・8.3% 達成
		7.水道メータ確認	・異常時確認	・特に異常はなかった

部 門		実 施 項 目	目 標（2023年）	実 績（2023年）
電 子	電子部 （御牧・ 甲府）	1.顧客出荷品質	・ケーブル不良率低減 100ppm目標 ・組立不良率低減 御牧：26件以下 甲府：5件以下	・御牧：71.3ppm 達成 ・甲府：70.6ppm 達成 ・御牧：11件 達成 ・甲府：1 件 達成
		2.仕損金額の減少	・前年比10%削減 目標：58,676円以下	・金額：128,710円 未達
		3.変更管理の対応	・毎月1回の変更管理会議	・毎月1回の変更管理会議
		4.環境教育	・新規採用者、協力工場への教育	・新規採用者実施 ・御牧：1 名 ・甲府：1 名
		5.環境美化	・工場内の清掃 緑化	・年2回（5・10月）の実施 ・花いっぱい運動の継続
共通 （全社）		二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の総合評価として 原単位を用いる。	目標に対して二酸化炭素の排出量は 減少しており、対販売量も改善してい る。
		電力使用量		・電力データは2022年に比べ2023年 は本社が94%、御牧が97%、全体で は94%と減少しております。
		灯油 ガソリン（社有車） 軽油（社有車）		・燃費データはガソリンの消費量は 110%と増えておりますが、軽油の消費 量については99%と前年並みとなってお ります。
		廃棄物		一般廃棄物については減少しているもの の、産業廃棄物は増加している。
		上水使用量		従業員数の増加により、目標内ではご ざいですが、前年に比べて使用量も増加 している。

7-4. 環境経営活動の取り組み結果と評価

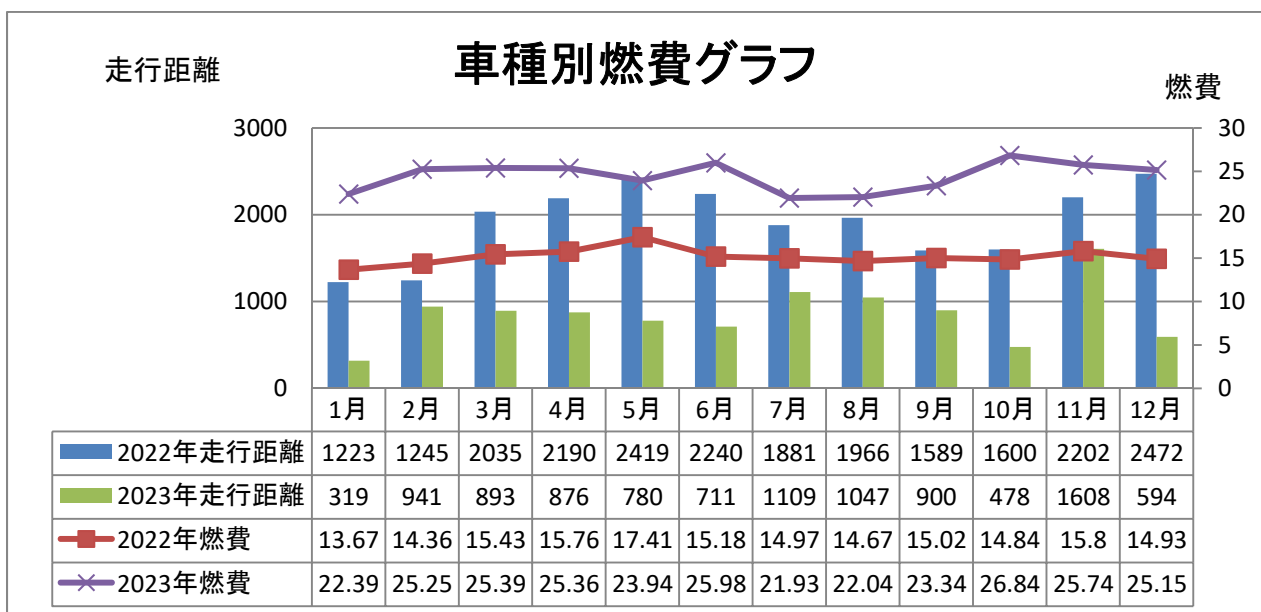
§自家消費用太陽光パネルの設置

- ☆ 2023年は本社別館に自家消費用の太陽光パネル（66kw）を設置致しました。
- 2024年より本格稼働し、環境に配慮した生産活動に寄与すると期待しています。



§社有車の燃費向上に向けて

- ☆ 社有車燃費向上についての2023年度は20台中2台（10.0%）の車で年通での目標を達成出来ました。しかし、車の年数や季節での空調使用及び1回の走行距離により変動し燃費目標を達成出来ない車もありました。
- ・車種別距離数と燃費グラフにて各車管理をおこなっております。
- ・昨年の実績を踏まえ2023年度の各車の目標値を決定し、目標値と運転ポイントを記載したステッカーを各車に掲示しエコ運転をめざしております。



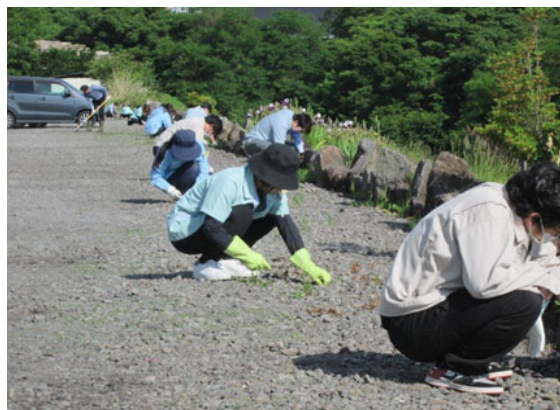
各車に貼り付けを行っております、
燃費目標値とエコ運転ポイントです。

§環境美化活動

☆全社での環境美化の一環として 年2回の清掃活動・除草活動の実施を行っております。



* 本社近隣の清掃活動（春）



* 御牧事業所近隣の清掃活動（秋）



* 甲府営業所近隣の清掃活動

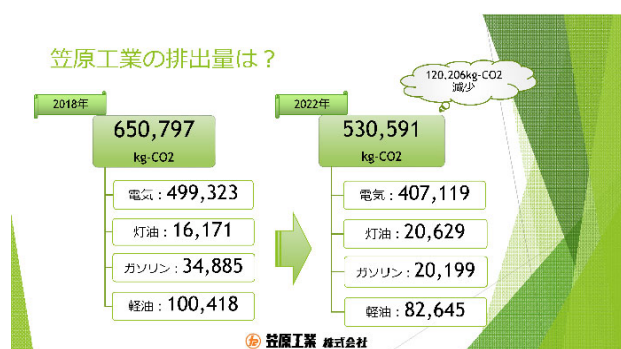
§緊急事態の訓練

☆防災の日に合わせて避難訓練の実施を行なうとともに消火器の取り扱い訓練を行いました。
訓練を通じて防災意識の向上と消火器の取り扱いについて学ぶことが出来ました。



§環境教育

☆環境教育の一環として「カーボンニュートラルへ向けて」と題して、社会情勢と当社の活動との結びつきについて、全社員の情報共有を図りました。



環境教育を行うことにより、より日々の環境に関心を寄せてまいります。

§環境会議

☆2023年度は3回の環境会議を実施し、各部門の活動状況を通じての問題点並びに各種事業の推進について協議してまいりました。

関係各所の協力のもと2023年はCO₂排出量の目標を達成することが出来ました。

8. 環境法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の企業活動に伴い適用される環境関連法規等は、「環境法規制、その他の要求事項一覧」の通りです。総務課及び事務局が中心となり法規の遵守状況についてチェックを行い、現在及び過去問題のないことを確認いたしました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘、並びに訴訟等は過去5年間ありませんでした。

2023年度環境法規制、その他の要求事項一覧(1)

法律名	対象	法規制内容	対象作業	評価
廃掃法 (廃棄物の処理 及び清掃に関する 法律)	・廃棄物 廃プラ	表示・保管方法	廃棄物保管場所の確認 表示・保管方法の要件	○
	汚泥	産業廃棄物管理票 (電子マニフェスト)	電子マニフェストの発行 (処理の進行確認)	○
	廃油	運搬・処理業者との委 託契約	委託内容の確認	○
	ガラスくず		委託内容とマニフェストの 整合	○
	他 汚泥・廃油・油泥	中間処理・最終処分 の処理状況の確認を 行う	原則、汚泥・廃油・廃油 汚泥の処理事業者の ホームページで状況の 確認を行う	○
グリーン購入法	・原材料又は部品	できる限り環境物品 等を選択するよう 努める	購入品のグリーン適用品の 把握	○
	・環境への負荷低減 に資する製品			
騒音規制法	コンプレッサー	騒音第3種 準工業 地域	特定施設：空気圧縮機 及び送風機（原動機の 定格出力が7.5Kw以上 の物に限る。）	○
		規制値：昼間 65b 夜間（21：00～ 6：00） 55b	特定施設（空気圧縮 機、送風機）としての 設置及び変更・廃止の 届け出	○
振動規制法		振動第2種 準工業 地域		○
上田市条例		規制値：昼間65db 夜間（19：00～ 7：00） 55db		○
水質汚濁防止法	研磨洗浄施設	特定工場	公害防止統括管理者 公害防止管理者 等変更	○
下水道法	変更	変更のある場合 届出する。	特定施設 変更等	○

2023年度環境法規制、その他の要求事項一覧(2)

法律名	対象	法規制内容	対象作業	評価
上田市下水道 条例	排出基準 汚染状態の測定	排出基準 別表1 記録の保管	保管	○
PRTR法 (化管法)	シンナー その他	1000kgを超えて 排出した場合は 届ける	使用量の把握	○
毒物及び劇物 取締法 農薬取締法	東北 農薬 上田・東北	販売者の届出 更新 保管 表示 帳票	有効期限の確認 保管場所の確認 保管3年	○
上田広域連合 火災予防条例	・指定可燃物 発泡スチロール	発泡スチロール (20立方) は指定 数量届出	表示確認	○
フロン排出 抑制法	冷凍空調機器	①適正な場所への 設置 ②機器の点検 ③漏洩防止措置、 修理しないままの 充填禁止 ④点検等の履歴の 保存	・全ての製品を対象と した簡易点検の実施	○

(東御市限定)

法律名	対象	法規制内容	対象作業	評価
浄化槽法 東御市浄化槽法 施行細則	浄化槽	浄化槽の保守点検	実施者 東京理工器(株) 点検記録の確認 技術者・管理者変更	○

(その他の要求事項)

その他の要求事項	適用内容	記録・条件	保管場所	評価
環境活動実施 グリーン調達 製品含有化学 物質管理 (RoHS・REACH規制)	第三者認証取得 化学物質含有量 製品含有禁止物質 管理方法の確立	提供・基準の厳守 未使用・保証書 顧客へのデータ提出	各部署	○

本社精密加工部 排水より基準 (上田市下水道条例 第23条)

水質管理項目	基準値	評価
水素イオン濃度 (PH)	5～9 (PH)	○
生物化学的酸素要求量 (BOD)	600mg以下/ ℓ	○
浮遊物質量	600mg以下/ ℓ	○
ノルマルヘキサン	5mg以下/ ℓ	○

9.代表者による全体評価と見直し・指示の結果

インプット(審議事項)	アウトプット(見直し結果：社長指示)	担当	期限
(1)各部の活動目標達成報告 (各部門責任者) 【継続データ】 *全社電力量 電力使用量については、昨年同月までの使用量と比較して約80%となっております。 *全車ガソリン・軽油消費量 昨年同月までの使用量と比較してガソリンについては88%、軽油については84%となっております。 全体としては昨年に比べ消費が増えている状況です。		各部門	2023年
(2) 地域住民などの利害関係からの苦情及び是正処置 2023年度は有りませんでした。	* 各設備の点検の実施を確実に行う。	各部門	2023年
(3) 法規制、遵守評価、社会状況の変化 (7月25日及び10月27日にチェックシートに基づき確認しました。) 問題ありませんでした。		事務局	2023年
(4) 中間審査是正処置結果 【A-1】 2023年度の実績を踏まえ、2024年度以降の中期目標を策定してください。	中期計画の策定を行います。	事務局	2023年

インプット(審議事項)	アウトプット(見直し結果：社長指示)	担当	期限
(5) 内部監査報告 【改善すべき点】 ・管理部門 1件 ・合成部門 1件 ・AB部門 1件 ・精密加工部門 1件 ・電子部門 1件	*取組項目として、本社別館の太陽光発電の維持管理を追加致します。 *品質が厳しくなっている中で同じ内容での指摘もあり、仕入先とも協議の上再発防止に努めます。 *小ロット発注が不可のため、適正在庫と上限、下限の中の見直しを検討します。 *電気については受注量など影響して、使用量に浮き沈みがありますが、部署員に無駄な電気の使用をしない様に指導しております。 *仕損金額については、毎月の品質会議のデータに載っており、突出した内容があれば、再発防止策等検討し、注意喚起するようにしております。	各部門 事務局	2024年
(6)環境方針 ・来年の環境方針も今年と同じ内容としてよいか。	変更なしで来年も継続する	経営者	2024年
(7)来期活動スケジュール ・来年のスケジュールも今年とほぼ同じ内容で進めて行きます。	環境会議については4回予定	事務局	2024年
(8)実施組織の役割及び有資格者の更新等について	1名が農薬管理指導士の更新予定となる		2024年 3月31日

以上で令和5年度環境経営活動レポートは終了です。

